学校番号	306

令和８年度地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	『詳説世界史』（山川出版社）、プリント教材						

１担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次の歴史総合、２年次の世界史探究、３年次に並行して履修する世界史探究で学んだ内容を踏まえ、19 世紀後半以降の近現代史に重点を置いて学習する科目です。史実の学習を通じて、現在の世界や日本の現状を考察・探究し、自分の確かな見識を深めることが目標です。「確かな知識をもとに自分で考えてみる」ことを意識してください。その際、意欲・関心を持って図表やその他資料を活用し、疑問点を解消する努力を怠らないでください。
・この授業では、今日の社会に生きる人たちがすでに生まれていた時期の史実を詳しく学びます。今日の社会がどのように形作られていったか、強い興味関心をもって学んでください。
・語句や歴史の流れを知識として定着させるには繰り返しの復習が大事です。また、受験勉強やレポートの作成に備えては基礎知識を組み合わせて思考力・判断力・表現力を問われる課題に対応することも求められます。研鑽に努めてください。

２学習の到達目標

近現代に起こった社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、現代社会に連なる諸課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する現在の国際社会で主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育むことをめざす。

３評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の近現代史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から近現代史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけようとしている。	近現代史の大きな枠組みと展開に関わる出来事の内容や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察する能力、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する能力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしようとしている。	近現代史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとするとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	帝国主義とアジアの民族運動	1 第 2 次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	a:帝国主義の時代におけるヨーロッパ列強の動向と対立、また列強の支配を受ける中で民族自立をめざすアジア諸国の動向について理解している。 b:地図や図表資料をもとに、欧米列強がアジア諸地域に与えた影響とその背景について多面的・多角的に考察し表現している。 c:帝国主義期の欧米列強の動向と世界各地域にもたらした影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	プリント レポート
	第一次世界大戦と世界の変容	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	a:第一次世界大戦の背景や経緯、終戦後の情勢を中心に、ロシア革命などの世界諸地域の動向について理解している。 b:映像資料などをもとに、第一次世界大戦の特徴や、大戦がもたらした世界各国に与えた影響について多面的・多角的に考察し表現している。 c:第一次世界大戦前後の世界情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	プリント レポート

2学期	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	a:世界恐慌に代表される大戦戦間期の世界情勢やその背景、第二次世界大戦と終戦後の新しい国際秩序が成立するまでの経緯と背景について理解している。 b:映像資料などをもとに、世界恐慌期の世界情勢や第二次世界大戦期の世界情勢について、日本の動静も強く意識しつつ多面的・多角的に考察し表現している。 c:戦間期から第二次世界大戦期にかけての世界情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	プリント レポート
	冷戦と第三世界の台頭	1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	a:冷戦期の東西両陣営の動向や、核戦争の危機を背景とする緊張緩和に至るまでの経緯、さらに冷戦期に独立を果たした旧植民地の動向について理解している。 b:映像資料などをもとに、冷戦期の世界で起こった事象を理解した上で、当時の世界情勢やその背景について多面的・多角的に考察し表現している。 c:冷戦期の世界情勢や事件について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	プリント レポート

3学期	冷戦の終結と今日の世界	1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相 5 地球世界の課題の探究	a:1980 年代以降の世界情勢やその背景、現代文化や環境問題の内容について理解している。 b:映像資料などをもとに、1980 年代の世界情勢とその背景について多面的・多角的に考察し表現している。 c:1980 年代以降の世界情勢や現代文化・環境問題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	プリント レポート

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度